

心耕

11月号

障子を開けたらガラス戸の向こうに
百舌。こんな近くに初めて見た。
モズ

今月の行事

● 十二日 常例法座 午後一時

築地本願寺報恩講 放映

● 報恩講

二十六・二十七・二十八日
(金) (土) (日)

一日間 全て午後一時より

御講師 島根県鹿足郡吉賀町樋口

誓立寺 朋澤智弘師

絵経写

19日 13:00

三浦さんの勉強会

12日 10:00より

御晨朝

おあそび

毎朝六時半より

おまじないのあそび

21日 朝8時
草刈りと掃除

報恩講を迎え

25日 仏具のお磨き

緊急事態宣言は解除されても、

まだ警戒を解くことはできない。

築地本願寺は今年も団体参拝は

中止。西光寺の報恩講はお香の

取り止め。マスクはズツと着け

続け。

裏表紙に紹介した西法寺、今

でこと広島市となっているが、

元は佐伯郡湯米町。タワナーの

運転手であえ、行きは客が一

緒を帰りは一人。恐ろしいで

すのネという程の山の中。コ

ロナとの向かい方も町とは随分

と違つ。

そこの住職・土師師を云う。

GoToラベル・GoToイート、誰

に旅に行け、飯を食に行けと

云うところじゃ。」「いろんなど

ころがあるんですよ。ナンバシヤ

人間そのものの目ざめを

呼びかけるのが

如来の本願である

中西智彦

ふるさと ともだち せんぎょう りょうし もりお
故郷の友達に専業の漁師(盛雄)がいる。七十を過ぎ
りつば ろうりょうし いま うみ で
て立派な老漁師だが今でも海に出ている。漁は殆んどし
ない。 すいさんしけんじょう けんきゅういん しよくいん の
水産試験場の研究員や職員を乗せて、週に
いちにかいうみ で すいしつ しら かいてい むかし すな
一二次海に出るのである。水質を調べ、海底の昔は砂だ
ったが今ではすっかり黒い泥となった土を調べ、色んな
かい さかな ようす しら けんぎょう りょうし ともだち てつろう
貝や魚の様子を調べる。兼業の漁師の友達(徹郎)もい
る。 すつかり減ってしまつたアサリや赤貝を採っている。
にさんねんまえ すうじゅうねん かぐしよくにん
二三年前、数十年ぶりに家具職人をやっている友達(秋
ひろ まじ よにん さげ の か てつろう
博)も交えて四人で酒を飲み交わしたとき、「徹郎、お前

けんか
が喧嘩して負けた話を聞かないが、どうして負けないん
だ」と私が聞くと間髪入れず盛雄が、「そりやあぶん殴つ
てすぐ逃げるから」と答えた。

かいわ ほうげん か
* 会話は方言で書きたいのですがほとんど理解不可能と思うので
ひょうじゆんご か
標準語に変えました。味気ないとわかっています。

ふたり ちゅうがく そつぎょう ぜんこく ほんば わた ある どうし
二人は中学を卒業して全国の飯場を渡り歩いた同士な
のだ、二十歳ごろ、もりお おかやま よめ
盛雄は岡山から嫁さんを連れて帰つて
きた。その嫁さんの作つた肴で飲んだのだが、徹郎が飲
みに行こうと言い出し柳川の町に繰り出した。元気なの
は徹郎だけ、あとはつぶれて眠るだけというざまだつた。

なつ であ
懐かしさにあふれた出会い。どこにでもある光景でし
ようが、今しかない、ここにしかない貴重なものに皆、今
出あっているのです。 ナンマンダブ ナンマンダブ

鬼神

鬼神は多様な意味
と用い方があります。
仏教辞典では



オンライン文化祭
学生はたくましく
この世を生きていく。

超自然的・神秘的な靈力を有し、生者に禍福をもたらす靈的存在。その顯現の仕方によつて、善鬼と悪鬼に分かれる。

とあります。死者の事を表すこともありすが、超自然的現象も表すこともあるのです。

自然は恵みももたらすし、災いももたらします。ただ、自然自体は善悪なくただ法則に従っているだけなのですが、受け取る側にとつて善とも悪ともなります。

自然の鬼神として有名なものに夜叉がいます。インドでは森林に住む神とされてきました。人間に恵みを施す存在でもあり、人間を喰らうという存在でもありました。自然の恵みと恐ろしさを具現化したものが夜叉となつたのでしよう。この夜叉は仏教に取り入れられ、仏教を守護する八部衆の一人となります。



死を恐れる存在と見れば、鬼神と化し、死を仏に生まれ変わる往生と受け入れれば仏と化します。

こんなところに 仏教用語

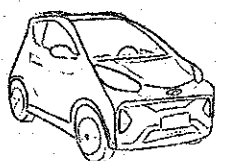
身近な仏教用語を紹介しています。



お釈迦様は、これに気が付いた阿難をほめ、阿弥陀如来について説かれるのです。大経が真実のお経と言われる由縁の場面です。

奇瑞

中国の電気自動車メーカー
に奇瑞汽車があります。「奇」
はとりわけ、「瑞」はめでたい



という意味です。

中国では古くから奇瑞が用いられ、特に聖人の出現による吉兆を指しました。仏教では仏さまの有難い現象に奇瑞と記されています。浄土真宗で一番重要なお経が「大無量寿経」です。冒頭で、お釈迦様のいつもより素晴らしい様子だったので、弟子の阿難がそれを讃えます。五徳瑞現といい、五つに分けて讃えます。

- ① 今日世尊 住奇特法：今日の釈尊は、特に勝れた禅定に入つておいでになります。
- ② 今日世雄 住仏所住：今日の釈尊は、悟りそのものに入つておいでになります。
- ③ 今日世眼 住導師行：今日の釈尊は、人々を導く徳を具えておいでになります。
- ④ 今日世英 住最勝道：今日の釈尊は、何よりもすぐれた智慧の境地に入つておいでになります。
- ⑤ 今日天尊 行如来徳：今日の釈尊は、如来の徳を行じておいでになります。

法座案内

十二日(金) 十三時～十五時

築地本願寺報恩講オンライン参拝

毎年、築地本願寺に団体でお参りに行っていました。今年も団体参拝ができませんので、西光寺にて法要の様子を上映してお参りします。自宅でも築地本願寺チャンネルと検索すればお参りが出来ます。

二十六、二十七、二十八日

西光寺報恩講 午後一時～三時

講師 朋澤智弘師

(島根県鹿足郡誓立寺)

西光寺の報恩講は毎年お齋などの準備を行いながら三日間勤めていきましたが、今年もお齋無しの法要、法話のみの開催です。詳細は別紙にて

***感染症対策をお願い致します。**

各種ご案内

・お朝事

毎朝六時半～七時、お勤めをしています。日々のお参り、命日などにお参り下さい。

・草取り

冬期休暇に入りました。三月から再開です。報恩講前の清掃と一緒に草取りをします。

・写経会

十九日(金)十三時～
のんびりやっています。どなたでも

・壮年会・婦人会主催の勉強会

壮年会 休み 十二月一日 十八時～
婦人会 十二月十時～

・門信徒会費 口座振込について

振込番号です ゆうちよ銀行
西光寺門信徒会 00180-0-713424
会費 年間一万二千元

・おみがき

仏具を磨きます。作業は難しくありません。一緒に本堂をきれいにしましょう。
日時 二十五日 十時～十二時 昼食付

・心耕発送者募集!

心耕(月刊西光寺新聞) 発送作業をお手伝いいただける方を募集します。

形態…三カ月に一度 主に月初めの平日
時間…一〇時～一二時 特製ランチ付♪

・西光寺公式ライン

西光寺のライン用アカウントが出来ました。お寺の行事などを配信予定です。ラインをされている方は、左のQRコードから登録してください。

・新作動画六日に配信予定!

YOUTUBE 西光寺チャンネルにて、節談説教の動画を六日に配信予定です。他にも正信偈や紙芝居もありますので是非ご覧ください。感想も頂けると励みになります。以下QRコードで

・感染症対策について

37.5℃以上の発熱、咳が出る方はお参りをお控え下さい。マスク着用、消毒にご協力下さい。法座等の集まる行事では、念の為、氏名をご記入頂く場合があります。急な予定変更の場合がありますので直接連絡をするか、HPを参考にして下さい



唯識から

前回の話では、借り物縁の集合体が私もの諸法であることを語りました。この世に実際に有ると見えるもの諸法は、借り物でしか成り立たないので無我といえます。仏陀の説かれる諸法無我です。空です。空であっても識が動いているのです。借り物経験業は種子としてアーラヤ識に全て収まっているとも言いました。その種子はアーラヤ識内に整然として並べられて有るわけでは無く、区別できない混沌カオスとした状態で保管されます。無分別とか平等とか言われる状態です。この状態から他者借り物に依りかかっただけで起ってくる現象を依他起生と言います。つまり縁起です。集合体の私達には眼耳鼻舌身意という感覚器官の六根とその感覚を認識する六識があります。この六識と第八識のアーラヤ識の間に私を私と主張する我分別というフィルターとなる第七識としてマナ識が生まれます。アーラヤ識から出てくるものは全てマナ識を通過し第六の意識に集積されます。この我執が附着した意識が第一の眼から第五の身までの感覚をも我がを付けたものとして意識が処理をするようになります。先ほども言いましたがこの世は他に依って起っている状態を実際に有るのだと思ひ込んでいることなのだ指摘しているのが唯識であります。夢・幻の世界です。そのような夢・幻の世界で欲望を強くしたり、怒りを振りまいたり、嫉妬や妬みなど心を煩わして何の意味があるのかと問うているのであります。

しかしながら生き物が個体として成り立つためにマナ識は必要な機能であります。現実社会に生存するためには無我ではいられません。夢・幻などと思っていたら生活できません。私達には怒りは必要がないかもしれませんが欲という煩惱は必要です。この世から消えるまで意識の中にあり続けます。阿弥陀さんやお釈迦様でも衆生を救いたいという我欲を持っています。彼らの欲は清浄で私たちの欲は不浄だといふのはありません。そのように言う人々がいますが欲は欲です。使い方が違うのです。欲を道具として使用しているのか欲に使われて

いるのかの違いです。主客の違いです

さてアーラヤ識の先に第九のアマラ識を設定している学派があります。意味のないことだと思われれます。アーラヤ識を消滅させようとする識がアマラ識だそうなんです。アマラ識の在り方も消滅するという業行があります。よってアーラヤ識の中に入るのでアーラヤ識の消滅には矛盾があります。中心はアマラ、アーラヤ、マナの三識ではなく意識なのです。

まずアーラヤ識は全ての業縁のたまり場です。カオスです。無分別の状態です。これだあれだとハッキリしていません。境の無い状況です。マナ識は我というフィルターで分別の働きをします。アーラヤ識に依存し意識に影響を与えます。意識は本来無垢ですがマナ識によって曇っています。存在しないものをあれだこれだと分別し、因縁で起きてる仮の存在を本物と考えるなど歪曲されているのです。そして全ての感覚を我執で善悪や好き嫌いなどと判断区別しているのです。これが現実の私たちの在り方です。

法蔵菩薩が世自在王の話を聞いたように、仏法を聞くことにより、私たちの意識の方向性が変化します。これは借り物だ、これは存在していないと考えるようになり、意識がマナ識我執や煩惱を見つめ、透過したところにアーラヤ識無我を発見します。意識がマナ識を見つめるとき、意識自体が我がでないことを知り、煩惱でないことを知ります。意識の曇りが晴れてアーラヤ識が現れます。そこに無分別浄土、無一物平等を感得します。このことを空と言ったりします。そうして再びマナ識を通り戻ってきます。これを信知する以前の意識ではありません。カオスからコスモスが、混沌から秩序が、無から有が、慈悲から欲願が生じるのを知ったのです。あらゆる私の中の我や煩惱の主人となったのです。何ら他人と変わらないように善悪や好き嫌いが表面的には見えますが、無意識では有りません。己の行動に意識的になります。そこに慈悲が生じます。『大経』の初めに「みな普賢大士の徳に遵えり」と語ります。利他の実践を勧めています。この徳は阿弥陀仏の大慈大悲に準じ、社会活動における利他なのです。これを第五門とも還相とも言います。

報恩講のご案内

12日(金) 13:00~15:00

築地本願寺報恩講インターネット参拝

於：西光寺本堂

毎年、11月12日は築地本願寺へ団体参拝をしていましたが、感染症対策の為、団体参拝は不可能となりました。インターネットで放送されますので西光寺にて上映をし参拝を致します。自宅でも、「築地本願寺チャンネル」と検索をすれば報恩講の様子を見ることが出来ます。他の法要、法話も掲載されていますのでぜひご覧ください。

西光寺報恩講

日程

26日(金) 午後1時~3時 法要

27日(土) 午後1時~3時 法要

28日(日) 午後1時~3時 法要

講師 朋澤智弘師

(島根県鹿足郡誓立寺)

報恩講って？

浄土真宗じょうどしんしゅうを開かれた親鸞聖人しんらんしょうにんのご法事です。

迷い、苦しみ、憂う者をすくいの手で包んだなら決して離さないと誓われた阿弥陀如来あみだ。その攝取不捨じゆくふしよの慈悲じひの心を伝えて下さった親鸞聖人しんらんしょうにん。

この報恩講ほうおんこうは1年で最も大切な行事です。西光寺では3日間勤められます。

お参りに条件、制限はありません。どこか1日でもお参りするよう心がけましょう。

住職多感のかわりに

当たり前の中のことに

ただごとでない幸せがある

東井 義雄

緊急事態宣言が解除されて、世間は少し浮き浮きしているように思える。ただ、山奥の村では何も変化はありません。

マスクをせずに外出をすること、会いたい人に会えること、行きたい所に行けること（ステイホームの反対）、大勢の人と集まること、周りを気にせず騒げること、顔を寄せ合って話をし、食事をすること（等々三密の反対）。そのような日常が禁止され、周囲の人のまなざしにピリピリとし、盆・正月の帰省も取りやめた。葬儀ですら集まることがはばかられる社会を今、経験している。

私たちが意識せずに過ごしていた日常が禁止されて初めて、どれほど大切なことであつたかを思い知らされている。

「当たり前」の反対語は「有り難い」と云われるが、日常のことは当たり前と思うこととすらなくなって、失って初めて有り難い

ことだと気づき、一日も早くもとの日常に戻りたいと思う。

でも、もとの日常は、そもそも当たり前だったのでしょうか。

失って、有ることの有り難さに気づき、有れば当たり前にしてしまう。

そのような私たちの生きざまを「るてん流転輪廻」というのでしょうか。何度繰り返しても忘れてしまう。

東井先生の「当たり前のことの中に だだごとでない幸せがある」という言葉を胸にきざみたいと思う。

後記

「当たり前」と何度も書いていて、藤田まことの「当たり前田のクラッカー」というコマーションルを思い出した。

きっかけがあれば、いろんなことが思い出される。記憶とは不思議なものだ。思い出そうとしても出てこないのに何でもないときに出てくる。記憶は私の所有ではないかもしれない

広島市佐伯区湯来町多田 西法寺住職

吉崎哲真師発行『心聞』秋号より

十二月（師走）の行事

。十二日 常例法座

。二十六日 日曜法座

コロナの激減は孝えも
しまでござした。いつもの年の
年末行事、お休みです。

晨朝は毎日

発行

浄土真宗本願寺派 (西)

西光寺

〒二九〇〇〇二四

千葉県市原市根田

七三三一

TEL. 0436-22-7412

FAX. 0436-24-1652

HP. <https://www.saikohji.net>

MAIL saikohji@hb.tp1.jp